

<対策のポイント>

生産資材の安全確保に向けた科学データの収集分析、リスク管理措置の基礎となる試験法の開発、管理手法検証、薬剤耐性菌のまん延防止対策等を推進します。

<事業目標>

最新の科学的な知見に基づき、**安全な生産資材の安定供給を推進し、農畜水産物への消費者の信頼確保に貢献**

<事業の内容>

1. 農薬、肥料、飼料及び動物用医薬品に関する安全確保対策の実施

- ① 新たな散布方式での薬効・薬害の効率的な評価、被覆による土壤くん蒸剤の使用量減少効果の検証等、農薬の安全性向上に必要な調査・試験を行います。
- ② 産業副産物等の肥料利用拡大のため、品質や安全性に係る調査・試験や成分の簡易分析法の開発を行います。
- ③ 飼料中の有害物質の基準値作成等のリスク管理措置の検討に必要な調査・試験等を行います。
- ④ 動物用医薬品の承認・使用基準の設定等、動物用医薬品の安全性に関する評価の充実に必要な調査・試験を行います。
- ⑤ 新たな未利用資源を活用した飼料の評価基準設定に必要な情報の収集及び流通実態調査を行います。
- ⑥ 飼料工場における抗菌剤混合・供給体制の実装に向けた検証を進めるため、実態調査及び課題検討を行います。

2. 薬剤耐性対策アクションプラン（2023-2027）を踏まえた対策の実施

- ① 生産者、獣医師等に対し、抗菌剤の適正使用・慎重使用に向けた普及啓発、薬剤感受性試験の技術研修、治療に抗菌剤を多用する慢性疾患の予防に向けた普及啓発等を行います。
- ② 抗菌性飼料添加物の適正使用を推進するため、使用実態調査及び普及啓発を行います。
- ③ 家畜、畜産環境、養殖水産動物、愛玩動物における薬剤耐性菌発現の動向調査を行います。

<事業の流れ>

委託

民間団体等
(都道府県、市町村を含む)

[お問い合わせ先]

(1 ①②の事業)

(1 ③～⑥、2 の事業)

<事業イメージ>

農薬

- ・新たな散布方式での薬効・薬害の効率的な評価、被覆による土壤くん蒸剤の使用量減少効果の検証等、農薬の安全性向上に必要な調査・試験の実施…1 ①

新たな散布方式での薬効・薬害等の試験データ

被覆による土壤くん蒸剤の使用量減少効果等データ

最新の科学的な知見・技術の進展に対応した安全性の向上

肥料

- ・産業副産物等の肥料利用拡大に向けた品質や安全性に係る調査・試験の実施
- ・肥料事業者による成分分析の適切な実施を促すため、簡易分析法の開発を実施…1 ②



肥料生産

事業者による分析

出荷

動物用医薬品

- ・動物用医薬品の使用基準の設定に資するため毒性・残留試験、文献調査等の実施…1 ④



抗菌剤の適正使用推進のため

- ・薬剤耐性試験法の技術研修会開催
- ・疾病予防技術の勉強会開催
- ・動物分野の薬剤耐性動向調査等…2

安全な生産資材の安定的な供給

飼料

- ・有害物質（かび毒、残留農薬、重金属）等の含有・実態調査、残留・移行試験…1 ③

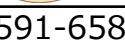


汚染実態調査の実施

家畜用いた動物試験の実施

国際的な考え方に基づいて、科学的に基準値を設定

- ・安全な飼料製造や抗菌性飼料添加物の適正使用推進のための実態調査及び普及啓発…1 ③⑤⑥



消費・安全局農産安全管理課 (03-3591-6585)

消費・安全局畜水産安全管理課 (03-6744-2104)